

リベリア向け輸出貨物船オーシャン・ハーヴェストOcean Harvest。三菱重工下関造船所で10月11日竣工。14,518重量トン。



英国向け輸出撒積貨物船アンテノーAntenor。三井造船藤永田造船所で9月30日竣工。26,725重量トン。

世界の艦船12月号(通巻第184号) 目次

【表紙】豪空母メルボルンのアイランド付近……………写真：小林 宏

去る10月7日、横須賀の米海軍基地に入泊中のシーンで、アイランドの直前にウエストランド・ウェセックス対潜ヘリコプターが係止されており、手前にグラマンS-2Eトラック対潜攻撃機の右翼と探照灯が見える。アイランド後部のレドームはこのほど新設されたものである。搭載機の定数は20機。

写真頁

▶【カラー写真集】護衛艦ながつき、米駆逐艦パウセル……………	1
▶海上自衛隊 相模湾観艦式 写真速報……………	7
▶いよいよ公試に入ったヘリコプター搭載護衛艦“はるな”……………	10
▶公試に入った新造輸送艦“あつみ”……………	12
▶自衛艦コーナー(まきしお、みちしお)……………	13
▶オーストラリア艦艇の近影……………	14
▶ノルウェーのクルーズ客船「ロイヤル・ヴァイキング・スター」完成……………	16
▶【写真シリーズ：世界の客船】イタリア客船ミケランジェロ……………	17
▶回想のマレー沖海戦……………	18
▶思い出の日本軍艦(戦艦日向)……………写真提供：朝長 溶/解説：木村 信一郎……………	20
▶米FRAM駆逐艦の新装備—横須賀基地に入った駆逐艦パウセルに見る！……………	24
▶横須賀に姿を見せたオーストラリア艦隊……………	26
▶防大のニューフェース『機動船3号』拝見！……………	28
▶埋もれていたアルバムから…旧海軍救難船猿橋に搭載の潜水船……………	30
▶カナダ海軍/コースト・ガードの艦船……………	32
▶【フォト・アルバム】過ぎし日の海上王“戦艦”⑭……………	88
▶《回想の客船アルバム》その23—諏訪丸(日本)……………	90
▶世界最大タンカー『グロブティック・トーキョー』進水！……………	91
▶第2回国際海洋開発展に参加した各国海洋観測船……………	92
▶スカンダッチの新造大型コンテナ船『セランディア』……………	94
▶米客船『モンテレイ』初の来日……………	96

▶ノルウェーの新造客船“ロイヤル・ヴァイキング・スター”……………	97
▶ニュース・フラッシュ……………	98
▶新造船紹介……………	100
▶惜しまれて引退する『橘丸』……………	102

本文記事

★カナダ海軍/コースト・ガードの現況……………瀬名 堯彦……………	39
■カナダ海軍艦艇要目表……………	48
■カナダ海軍艦艇一覧表……………	49
■カナダ・コースト・ガード船艇要目表……………	50
■カナダ・コースト・ガード船艇一覧表……………	51
■カナダの新DDH「イロクォイ」の新型12.7センチ54口径砲……………	52
■海上自衛隊の昭和48年度業務計画案……………	54
■資料・警戒隊の変遷……………	61
■年表・海上自衛隊艦艇20年の記録(下)……………	62
★《太平洋戦争秘録》三人の潜水艦長—1……………南部 伸清……………	72
★第2次大戦後の米海軍潜水艦(最終回)……………酒井三千生……………	80
★伊豆大島航路客船『橘丸』一代記……………山田 迪生……………	103
★戦時商船隊建造の回顧………残存資料より究明せるその全貌(3)……………正岡 勝直……………	108
★髙色の襟章—海軍造船官としての10カ年—(34)……………堀 元美……………	116
■海上自衛隊ニュース……………	123
■海外艦艇ニュース……………	126
■内外商船ニュース……………	128
■日本海軍艦艇史資料(36)……………	130
■プラモ・コーナー……………	132
■ブック・ガイド……………	133
■読者交歓室……………	134
■編集後記……………	134

山形民芸铸件

錨のせん抜き
(マリルックのオープナー)

品番 W-501

送共 200円

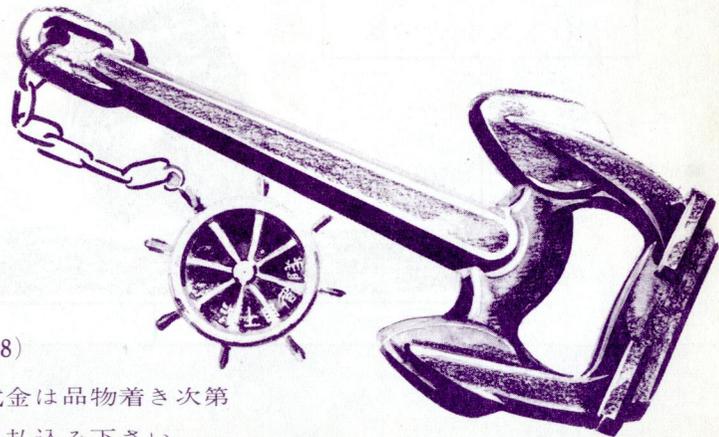
東京都港区浜松町1-2-18

日信企画

電話 431-4015 郵便振替(東京 98438)

お葉書にてお申し込み下さい。代金は品物着き次第

同封の郵便振替用紙で郵便局へお払込み下さい。



北ビルマ攻防戦で悲惨と残酷をきわめた秘境ミトキナをめぐる血みどろな玉砕戦!

死の筏ミトキナの激戦

750円

藤野英夫の意欲作!

竹本定男 ●540円

海軍下士官兵 重巡那智

自己の責任を全うし、生と死の極限にあって、最後まで頑張
り通した下士官兵の生活と勇敢な活躍を描いた感動の力作!

完結!

本書は、第18師団・歩兵114連隊(原隊は小倉)の移駐したミトキナが、一年八ヶ月後には、“第二のインパール”となって、この部隊と他部隊の支隊が敗れ去るまでを、当時一兵卒の著者が、生と死の極限にあって体験した生々しいドキュメント

海の戦記 全5巻各500円 不沈戦艦長門 今官一

特攻戦艦大和 吉田俊雄 激闘重巡摩耶 池田清

海空戦 空母瑞鶴 森史朗 魚雷戦 第二水雷戦隊 半藤一利